

# 感染状況・医療提供体制の分析(9月27日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細  
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (9月20日公表) 9月9日～9月15日	現在の数値 (9月27日公表) 9月16日～9月22日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	387人	383人	→	感染状況コメント <b>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</b>
		定点当たり数	4.61人	4.56人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	28.4%	32.4%	↗	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	岡山市保健所	2.36人	2.95人	↗	定点当たり患者報告数は <b>4.56人</b> と不変。手足口病などその他の感染症も減少してきているが、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや高止まり。マイコプラズマ肺炎が増加。人の移動や集まりは一旦落ち着いたからか、全国的にも岡山でも感染者数は減少傾向。しかし、高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。 入院患者数やや増加。 <b>ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。</b>
		倉敷市保健所	6.25人	6.31人	→	
		備前保健所	2.20人	3.30人	↗	
		備中保健所	6.33人	5.00人	↘	
		備北保健所	4.00人	5.17人	↗	
		真庭保健所	6.67人	3.33人	↘	
		美作保健所	8.20人	7.10人	↘	
入院状況	③ 入院患者数 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	24人	31人	↗		
	④ 人工呼吸器利用 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	0人	0人	→		

\*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。